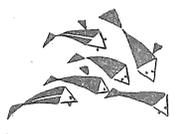


報 新 新 新

発行所 大洲市役所
編集課 文書課
(月1回発行)



4月末市の人口

人口	40,551
男	19,421
女	21,130
世帯数	10,150

(以上は住民登録による)
面積 240.93平方キロメートル

六月の納税
市県民税一期

新谷中 体育館の復旧きまる

<定例市議会ひらく>

小・中学校の完全給食も

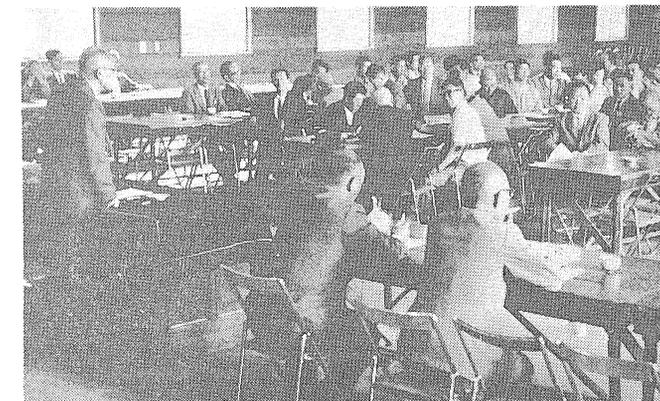
五月に招集された定例市議会は十九日から六月五日まで開き、本年度一般会計補正予算案一億三千四百八十九万九千九百七十七円を慎重審議し、原案とおり可決、そのほか請願・陳情なども審議決定した。

を積極的に進めることにより、自主財源の強化をはかる。行政の能率的、合理的な運営を図るために、よりよい機構、事務の簡素化をすすめる。の二点に留意する。

また、この補正予算案は、公共事業の早期着手、早期完了を図るため、緊急に措置しなければならぬ建設事業を中心に編成した。病院事業会計再建のための一般会計の財政圧迫を強く感ずるが、幸いに病院事業再建債一億三千九百万円の長期債の借入を完了、入院患者、外来患者の数を三月以来順調に増加し、ようやく再建も軌道に乗りはじめた。道路や橋梁は市民の日常生活に結びついた最も公共的のものである。乏しい財源の中からできるだけ多くの予算をあてているが、このことは、県道の整備促進にもよりの努力を傾注したい。

昭和四十二年の一般会計補正予算案の提案説明で、市長はおよそ次のように述べた。

病院再建も軌道に
この市政運営にあたっては、財源の効率的な配分によって、より多くの実をあげられるよう努めるとも、市の開発



市政に対する意見交換や要望を出す地区長総会 (大洲公会堂で)

料五十万円、将来計算事務委託を行なうための愛媛電子計算センター(出資金百万円、財産処分管理費百万円、児童館運営費八十二万八千円、幸楽園設置運営費補助十九万八千円、菅田火葬場復旧費二十五万円、大洲病院会計再建計画補助金一千八百九十九万五千円、畜産振興事業費一千万円、おはなはん放送記念事業費追加百七十八万八千円、八多喜地区道路踏切廃止に伴う付替工事費百十五万円、

いぜん道路に集中 地区長総会で要望

昭和四十二年の地区長総会は、議題の審議、市長または助役が各地区ごとに五月二十三日の平野と農林業、商工業振興政策、菅田地区から六月六日の大川地区、観光行政、財政問題などについて、まで八地区で行ない、残り二地区も近く開くことになっている。

総会は地区長会の議論の討議をはじめ、市長が地区へ出てきて市政の概要を報告して協力を求め、また、市政に対する市民のみなさんの率直な意見や要望を聞いて市政に反映しようというのがそのねらいであります。

まず、宇都宮地区委員長または城戸副会長のあいさつについて

橋梁改築に伴う県事費補助金百二十三万一千円、市単独市道改良工事費百九十万円、脇川可動堰床工事委託費七百万円、消防署移転改修工事費六十万円、教育研究指定校大会費四十万円、南久米小学校水泳プール建設費五百九十九万円、新谷中中学校体育館火災復旧事業費一千五百八十八万三千円、

△新谷中中学校体育館と南久米小学校水泳プール建設委員会案例一、新谷中中学校体育館の復旧建設と、南久米小学校に

しあわせをわが子に

△ハゲな服装やイカレたかっこう
不良化は、すぐに服装や髪型化粧などにあらわれ、
たんに、オシャレ、流行だからと、無関心でいるのは危険です。
ハゲな服装やイカレたかっこうをして、他人のものをあたりに持っている、借りたり、交換したりして、

△非行のめばえ (下)
ハゲな服装やイカレたかっこうをして、他人のものをあたりに持っている、借りたり、交換したりして、

あらわれ、
乱費は、授業料や学用品、
乱暴なこぼれやヤケ言、
する。

ことごとくに反抗



代のこまかしく、家財持出し、
△乱暴なこぼれやヤケ言、
親や兄弟が、ことごとくに反抗、
このように、思春期の

ろ、昨年につづいていぜん道路の補修整備関係に集中されているのが、農林道の改修促進、教育施設の改修などについて、そのおもなものをあげると次のとおりです。

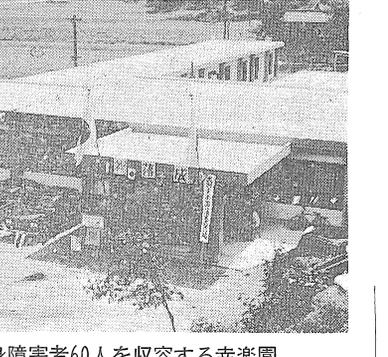
△道路の補修整備▽農林道の改修促進▽教育施設の改修▽文書の送達を早く▽商工業の振興策に力を▽若年労働者の他県流出防止策▽住民の異動事項の連絡を密に▽遊び場の設置▽小規模開墾地の助成▽献血運動の全面参加▽駐車場の設置▽納税組合の奨励金▽いたけ栽培振興策▽浸水地帯の排水対策▽農具方所の排除指導▽農業共済の基準反収による格差是正。

が水に親しみようになり、水遊びは子どもたちにとって楽しいものですが、危険も多く、毎年痛ましい犠牲者を出しております。事故のおもな原因としては、
○幼児がひとり歩きして、池や用水堀、野つぼなどに落ち込んだ。
○水辺で遊んでいるうちに足をすべらして、水中に落ち込んだ。
○水泳中、深みにはいつおぼれた。
などがあげられます。

愛媛県下の昭和四十一年中の子どもの水の事故(五月〜八月)は、発生五十一件のうち、死亡二十四人、救助二十八人となり、今年も五月十日までに十三人の子どもが幼い生命をなくしており、とくに五月一日〜十日までの十日間に四人が水死しております。このような悲しい事故をなくすためには、
① 幼児をひとり歩きさせない。
② 海岸や川ぞいの道を歩くときや池、用水堀、野つぼなどの近くを歩くときは、必ず幼児の手をひいて歩く。
③ 子どもの遊び場所を知っておく。
④ 幼児にとっては、浅い庭池やみぞでも危険なので注意する。
⑤ 野井戸や野つぼ、貯水そうなどは、必ずフタやサックを設ける。
⑥ 水泳に適さない場所や危険区域は、立札や標識などを立てて子どもたちに知らせる。
⑦ 子どもの水遊びに必要とする、とくに農家は、農繁期で忙しい時期ですが、幼児が目を離さないようじゅうぶん注意してください。

水を事故から子どもたちを守るため、お互いに気をつけ、地域全体で協力しましょう。

この第一の反抗期といわれます。親の理解がえられないため、
△不良のつきあい、
△先におかしな言動、
△ウチの子は、しっかりして、
△ウチの子は、まじめに勉強ばかりしています。というまに、
△この時期は、思春期の



心身障害者60人を収容する幸楽園

の個室十五室(一室四人)を備えました。
このほか、静養室、医療室、調理室、応接室、食堂、浴室などもあり、常時十二人の員が救護にあたっています。

県下でも松山市に二番目の施設で、工費のうち、千円は年貢ハガキ配分金、残りを市が負担、入居に要する費用は生活保護費(一人七千六百五十五円)でそのほとんどがまかなわれます。

また、入居希望者も南予ではじめての施設とあって百人を超えたが、選考で四十五人がすては、あともついで決定することになっています。

幸楽園でできる

県下で二番目の救護施設
昨年秋から西大洲に建設していた心身障害者の収容施設「幸楽園」は、このほど完成、五月二十日落成式を行いました。

△不良のつきあい、
△先におかしな言動、
△ウチの子は、まじめに勉強ばかりしています。というまに、
△この時期は、思春期の

この時期は、思春期の反抗期といわれます。親の理解がえられないため、
△不良のつきあい、
△先におかしな言動、
△ウチの子は、まじめに勉強ばかりしています。というまに、
△この時期は、思春期の

商業統計の結果 (41年7月) (大洲市)

商店数	八五三
常時従業員数	二、一三七
総数	八五三
一般卸売業	一〇
各種商品小売業	一九〇
織物、衣服身のまわり品小売業	九
飲食料品小売業	二九九
飲食店	三二一
自転車、荷車小売業	四六
家具、建具、什器小売業	六七
その他の小売業	一五一
飲食店	二五

平野公民館も落成
市が昨年秋からすすめていた平野公民館の増設工事は、このほど完成したので、七月に市と地元関係者ら多数で落成式をあげました。

この工事は、新築百八十一平方メートルに、連絡所三三三平方メートルの内部改修を行なって、講堂、調理実習室、事務室などの施設を完備、学習や実習に必要な設備も充実しました。

公民館が地域の社会教育センターとして、その機能を十分に發揮するために、施設設備の整備充実が前提ですが、これまで平野公民館は連絡所に併設されていたために、学習や実習に利用できる施設がなく、あるときは学校や農協を使用するなど不便で、運営も困難なため公民館建設は地元民の強い要望がなされておりました。

新公民館の完成によって、青年学級、婦人学級などの学習活動や婦人会、青年団をはじめ、地区の各種団体の活動にも大いに活用され、地域の生活文化の向上に役立つものと期待されております。

市長は渡米中
ホノルル市で開かれるアメリカ合衆国市長会総会に参加する使節団の一員として、同会議に出席するほか、アメリカ合衆国やカナダの都市事情、それにモントリオール万国博覧会を視察するための村上市長は十六日、日航機で渡米しました。七月十日ころ帰州の予定です。

